

DKNリサーチニュースレター

#2005、2020年2月23日（日本語版）
（エレクトロニクス実装の最新海外情報）

今週の話題

新型コロナウイルス感染の影響

新型コロナウイルスの感染が日本でも広がっています。初期においては、感染者や死亡者が中国武漢近辺に限られていましたが、この2週間ほどで、日本での感染者の数が一気に増え、死者も4名報告されています。これまでの感染者の大部分は、横浜に寄港した大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客、乗組員で、日本政府は、感染を限定される範囲に封じ込めることができると考えていたようです。しかしながら、この数日で状況は急速に悪化しています。検査をして陰性を確認してクルーザーから下船した乗船客が、自宅に戻ってから発症するような事例が出ています。また、感染ルートがはっきりしない感染者が毎日各地で報告されています。つまり、検査の信頼性が問われているわけです。今のところ、この先1週間どうなるかわからないような状況です。

韓国は、この数日で集団感染が広がっています。毎日新たな感染者が百人単位で増えており、死者も7人となっています。当局は、この数日がヤマだといっていますが、それほど根拠があるとも思えません。おそらく想定外の感染拡大にパニック状態で、確実な対処ができていないというのが実情でしょう。

中国での新たな感染者の数は、1日千人を下回るようになり、政府の当局者は、感染拡大を制御することに成功したかのような言い方をしています。しかしながら、現在でも毎日百人前後の死者が出ているようで、とても収まりつつあるというような状況ではありません。

感染の拡大に伴い、日本の製造業、サプライチェーンへの影響が深刻になっています。幸か不幸か、今回の新型コロナウイルスの騒ぎが始まった時期と中国の春節の休みが重なったために、初期の段階では、経済や生活への影響があまり顕在化しませんでした。中国政府の初動も遅れてしまいました。しかし、1千万都市の武漢が封鎖されるにおよんで、事態が深刻になっていることを思い知らされることになりました。現在では、多くの日本の自動車メーカー、電子機器メーカーが、中国で組立や部品調達を行っており、サプライチェーンは複雑に絡み合っています。そのほんの一部でも、機能不全となると、製品はできないことになります。春節の休みから1ヶ月が経過し、従業員は工場に戻りつつあるようですが、通常の稼働状態を回復するには、少なくとも2、3ヶ月はかかることになるでしょう。一方で、このところヴェトナムのメーカーが超繁忙状態になっているとの情報があります。中国メーカーからの調達を他国のメーカーへ移転する動きが加速して

いるようです。そのような観点では、ヴェトナムはもっとも頼りになる国かもしれません。

このような状況から、業界メディアは、今後エレクトロニクス業界が低迷することを予想しています。ところが、エレクトロニクス業界はすでにブレーキがかかっているといってもよい状況なのです。世界の半導体出荷は2018年年末から、2019年の第1四半期にかけて大きく下落し、第2四半期からはなんとか回復に向かいます。しかし、第4四半期には失速気味になり、年末には再び減少に向かっています。特に中国での下落が目立っています。台湾のプリント基板出荷も縮小傾向に向かっています。10月をピークにして、3ヶ月連続での大幅減少です。この後はコロナウイルス感染の影響が、大きく出てくることでしょう。今後、台湾のプリント基板出荷はさらに減少が続く、コロナウイルスの感染の結果とされることになるでしょうが、実際にはそれ以前に市場の縮小は始まっていたのです。これは民生用エレクトロニクス業界に、根源的に潜在する問題に起因しているといえます。一方、コロナウイルスの問題は、予測困難な自然災害のようなものです。現実的な問題として、明日のことでさえ予断を許さない状況です。企業の経営者にとっては、先が見えないところで、厳しい決断がせまられることとなります。

DKNリサーチ、沼倉研史（マネージング・ディレクター）

今週のヘッドライン 2020年2月23日

1. IDC（米国の市場調査会社）2／11

2019年第4四半期における中国のスマートフォン市場は、3億6670万台で、前年同期比7.5%の減少。

2. DIGITIMES（台湾の業界メディア）2／11

中国の台湾系プリント基板メーカーは、春節休暇からゆっくりと再稼働へ。労働者の戻りもゆっくりと。原材料の在庫には余裕。

3. IDC（米国の市場調査会社）2／11

当初今年のIT市場は5%の成長を見込んでいたが、中国のコロナウイルスの拡散が、大きなマイナス要因になってきている。

4. Samsung Electronics（韓国のエレクトロニクス最大手）2／11

新しいコンパクトな折りたたみスマートフォン「Galaxy S20」を発表。これで、AppleやHuaweiに差を付ける目論見。

5. Foxconn（台湾のEMS最大手）2／10

コロナウイルスで操業を休止している中国の工場の半分を2月末までに再稼働の予定。3月中には80%まで稼働率を上げる予定。

6. DIGITIMES (台湾の業界メディア) 2/12

中国武漢地区の半導体メーカーは、今後工場再開に際して、エンジニアリングサービスや材料供給面で大きな課題。

7. EE Times (アメリカの業界メディア) 2/12

中国で発生しているコロナウイルスの感染は、少量多品種、高信頼性の産業機器のサプライチェーンにもダメージ。

8. Samsung Electronics (韓国のエレクトロニクス最大手) 2/12

新しいスマートフォン、ギャラクシーZフリップを発表。価格は1,380米ドル。

9. Xiaomi (中国のスマートフォンメーカー大手) 2/14

最近のコロナウイルスの感染拡大に関わらず、2020年には、5Gスマートフォン10モデルを新規に立ち上げる計画。

10. DIGITIMES (台湾の業界メディア) 2/17

今回のコロナウイルスの感染さわぎにより、台湾のメーカー、特に中小企業の中国での設備投資を控える動き。

11. DIGITIMES (台湾の業界メディア) 2/17

中国武漢から拡散しているコロナウイルスのために、第1四半期の5Gスマートフォンの出荷は当初見込みの2億セット以上から、1億7千万~2億ユニットに減少のみこみ。

12. DIGITIMES (台湾の業界メディア) 2/17

中国でのコロナウイルス感染拡大のため、第1四半期のノートブックPCの出荷は、前期比で29~36%減少すると予測。

13. Apple (米国のエレクトロニクス大手) 2/18

中国の武漢から拡散している新型肺炎のため、1~3月四半期の販売、生産計画は未達となる見込み。武漢地域に生産拠点は無いものの、サプライチェーン、販売拠点が大きな影響を受ける。

(注) このヘッドライン・ニュース・レターは速報性を重視するために、若干の誤訳や数字の変換に誤りがある場合もございます。ご了承下さい。

DKNリサーチ
栄泰産業株式会社

DKNリサーチのイベントスケジュール

* 12月6日、技術セミナー「フレキシブルエレクトロニクス最前線～・材料・加工・生産技術と市場動向～」、サイエンス&テクノロジー主催、東京大井町きゅりあん、<https://www.science-t.com/seminar/B191206.html>

* 2020年1月20～21日、「ウェアラブルデバイスの印刷形成と材料に求められる課題」、最近の化学工学講習会、化学工学会関東支部主催、東京、早稲田大学55号館

※すでに終了したセミナーや講演であっても、使われたテキストはデジタルデータで利用可能になっていますので、ご希望があればご連絡ください。

最近のDKNリサーチの論文、出版物

* 「デザイン革命、見せる魅せる透明フレキシブル基板」沼倉研史、JPCA NEWS, NO.591, 2017年12月

* 「ウェアラブル時代に向けての新しい加工技術」沼倉研史、コンバーテック、2018年6月号、加工技術研究会

* 「耐熱性透明フレキシブル基板の材料と加工技術」沼倉研史／溝口昌範、エレクトロニクス実装技術、2018年6月号、

下記URLを開けてみてください。最近のものの一覧をみることができます。コピーライトの問題がないものは全文を閲覧することもできます。

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Newsletter/Newsletter.html>

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Articles/Articles.html>